

AラインとPICCの超音波ガイド下血管穿刺ハンズオンセミナー

日 時：12月4日（木）9：20～12：20

会 場：ハンズオンセミナー会場1（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

共 催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

【プログラム】

2部制

第1部：9時20分～10時40分 定員10名

第2部：11時00分～12時20分 定員10名

Aライン：山田 高成 先生（慶應義塾大学医学部 麻酔学教室）

講義15分

ハンズオン20分

PICC：坂本 三樹 先生（聖マリアンナ医科大学病院 麻酔科）

講義15分：術中の輸液ラインのPICCの可能性について

ハンズオン30分：超音波ガイド下の血管穿刺 /GUTTS モジュール1

DAMワークショップ

日 時：12月4日（木） 第1回目 9：20～12：20，第2回目 15：50～18：50

会 場：ハンズオンセミナー会場2（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

企 画：日本臨床麻酔学会教育委員会

責任者：山口 重樹（獨協医科大学医学部麻酔科学講座）

コンセプト：日本麻酔科学会気道管理ガイドラインの理解を深め，必要な手技について実践する。

インストラクター（五十音順）：

【第1回】

五十嵐 寛，池野 重雄，小澤 章子，川上 正晃，木村 哲朗，倉田 二郎，合谷木 徹，古賀 聡人，佐藤 光晴，鈴木 智文，寺嶋 克幸，日野 智子，福井 遼，古谷 健太，宮崎 直樹，望月 利昭，山口 重樹，山口 嘉一，山瀬 裕美

【第2回】

生田 義浩，井本 眞帆，太田 淳一，川越いづみ，古賀 聡人，齋藤 朋之，佐藤 暢夫，寺島 哲二，中西 俊之，中山 禎人，二階 哲朗，羽場 政法，日野 智子，福井 遼，福田 征孝，古川 直樹，松島 久雄，水本 一弘，山口 重樹

セミナー概要

安全な麻酔導入のための気道管理ガイドラインが日本麻酔科学会より発表され，全身麻酔導入時の麻酔導入時換気状態の診断と分類，麻酔前気道評価と麻酔導入方法ならびに気道確保器具の選択，全身麻酔導入後の気道管理戦略等が明確に示されています。このガイドラインの中で最も重要な項目は「麻酔導入時の日本麻酔科会気道管理アルゴリズム（JSA-AMA）」であり，換気の危機的状況に応じた対応策が示されている点です。

日本臨床麻酔学会 DAM 教育インストラクターが中心となって企画した DAM（Difficult Airway Management：困難気道管理）ワークショップでは，本邦で使用可能な気道確保のためのさまざまな器具とシミュレーター（人形等）を揃え，DAM に遭遇した際のさまざまな対処法（マスク換気，声門上器具を用いた危機対応，ビデオ喉頭鏡や気管支ファイバーを用いた挿管，輪状甲状間膜穿刺等）を参加者に実践していただき，ガイドラインの主旨や JSA-AMA の理解を深めてもらいたいと考えています。安全な麻酔導入のための気道管理について，麻酔科修練医にとっては知識と経験の整理の機会となるはずです。また，専門医の先生にとってもブラッシュアップの良い機会となると思います。

尚，本ワークショップでは，小児も含めた分離肺換気についても実施する予定です。

申 込：事前登録制

定 員：各回 30 名

受講料：3,000 円

適切な筋弛緩モニタリングのためのハンズオンセミナー

日 時：12月4日（木）15：50～18：20

会 場：ハンズオンセミナー会場1（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

責任者：鈴木 孝浩（日本大学麻酔科学系麻酔科学分野）

インストラクター：

高木 俊一（日本大学麻酔科学系麻酔科学分野）

羽間 恵太（広島赤十字・原爆病院）

松木 悠佳（福井大学学術研究院医学系部門医学領域器官制御医学講座麻酔・蘇生学分野）

セミナー概要：

【目的】

筋弛緩モニタの操作法を実践し、臨床麻酔での筋弛緩管理、患者安全に貢献する。

【プログラム】

進行：鈴木 孝浩

15：50～15：55（5分） 開会挨拶 ハンズオンセミナー開催の目的について 担当：鈴木 孝浩

15：55～16：15（20分） 講演 なぜ筋弛緩モニタリングが必要なのか？ 担当：高木 俊一

16：15～18：15（120分） 筋弛緩モニタリングハンズオン

1グループ5名程度に分けて、1機種20分×6機種（移動時間含む）を経験する。機器説明者（各企業）より各モニタ操作法の説明を受けたのち、実際に操作体験する。参加者からの質問については、各テーブルで各企業の機器説明者およびインストラクターが対応する。インストラクターは主に臨床でのトラブルシューティング等の質問に対応する。

18：15～18：20（5分） 終了挨拶 担当：鈴木 孝浩

【共催企業とモニタ機器】

1. 日本光電工業株式会社 AF-101P/201P（電位感知型 / 加速度感知型）
2. フクダ電子株式会社 テトラグラフ FTG2001（電位感知型）
3. センチュリーメディカル株式会社 ToFscan（3D 加速度感知型）
4. 平和物産株式会社 TwitchView モニタ（電位感知型）
5. 泉工医科工業株式会社 STIMPOD NMS450（電位感知型 / 加速度感知型 一体型）
6. アイ・エム・アイ株式会社 TOF-cuff（カフ圧感知型）

申 込：事前登録制

定 員：30名

受講料：無料

超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー 初級コース

日 時：12月5日（金）8：50～11：50（180分）

会 場：ハンズオンセミナー会場1（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

責任者・コーディネーター：中本 達夫（関西医科大学附属病院麻酔科学教室）

コースリーダー：宮崎 直樹（国立病院機構熊本医療センター麻酔科）

講義：酒井 規広（総合大雄会病院麻酔科）

インストラクター：

久住 映子（塩田病院麻酔科）

武田 敏宏（香川大学医学部附属病院麻酔・ペインクリニック科）

刈辺 誠（Az クリニック麻酔科）

逢坂 佳宗（行徳総合病院麻酔科）

末竹荘八郎（佐世保共済病院麻酔科）

属 絵理子（周南記念病院）

橋本 篤（名鉄病院麻酔科）

齋藤 秀悠（東北大学病院麻酔科）

仙頭 佳起（東京科学大学心肺統御麻酔学分野）

セミナー概要

周術期管理に用いる基本的な神経ブロックとしての「Plan A」ブロックを中心に、講義 60 分、実習 120 分（講義 30 分－実習 120 分－講義 30 分）というコースです。

※本コース受講により、日本区域麻酔学会認定ワークショップ受講単位 10 単位が取得可能です。

申 込：事前登録制

定 員：32 名

受講料：5,000 円

日本医学シミュレーション学会認定 第154回 DAM(困難気道管理) コース

日 時：12月5日（金） 8：50～11：50

会 場：ハンズオンセミナー会場2（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

実 施 責 任 者：小澤 章子（国立病院機構静岡医療センター麻酔科・集中治療部）

コースディレクター：木村 哲朗（浜松医科大学麻酔科）

インストラクター：太田 隆嗣（湘南鎌倉総合病院麻酔科）

植木 隆介（兵庫医科大学麻酔科学講座）

小林 賢輔（浜松医科大学医学部附属病院麻酔科蘇生科）

佐藤 暢夫（聖マリアンナ医科大学麻酔学）

戸田 法子（仙台医療センター）

井本 真帆（淡海医療センター）

渡部 達範（新潟大学医歯学総合病院麻酔科）

小林 充（聖隷三方原病院麻酔科）

楠 真二（県立広島病院救命救急センター）

岩下 真之（帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター）

羽場 政法（ひだか病院）

守田 季郎（総合病院山口赤十字病院麻酔科）

池野 重雄（諏訪赤十字病院）

日下あかり（福岡記念病院救急科、麻酔科）

太田 淳一（島根大学医学部附属病院集中治療部）

生田 義浩（熊本大学病院中央手術部）

小澤 章子（NHO 静岡医療センター麻酔科）

木村 哲朗（浜松医科大学医学部附属病院麻酔科蘇生科）

五十嵐 寛（浜松医科大学臨床医学教育学講座）

オペレーター：市川美智華（浜松医科大学医学部附属病院医療機器管理部）

セミナー概要

近年、気道管理器具や医薬品の進歩により気道確保の安全性が向上してきましたが、困難な気道確保症例がゼロになったわけではなく、日常的に気道管理を担っている麻酔科医は、いつ、どのような場面で困難気道症例に遭遇するかはわかりません。そのため、常に気道管理に関して修練を積み重ね、いざという場面に備えておくことが重要です。本セミナーでは、日本麻酔科学会（JSA）の Difficult Airway Management（DAM）アルゴリズムの考え方を基に実践的な技術や知識の習得を目標にハンズオントレーニングとシナリオトレーニングを行います。安全な気道確保のための正確な判断と適切な対応を習得したり、ご自身が体験した気道確保困難症例の振り返りを行う機会としてご活用ください。2004年の開講以来、麻酔科医を中心に約2,000名の医師が日本医学シミュレーション学会主催の本セミナーを受講し、インストラクターと共に全国の仲間との連携を深める場にもなっています。

患者様への安全な医療提供を目指して、気道確保について一緒に学びませんか。

申 込：事前登録制

定 員：12名

受講料：3,000円

備考：

今回は、豚の喉頭を用いたウェットラボも行います。

超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー 上級コース(上肢ブロック)

日 時：12月5日（金）14：20～15：20（60分）

会 場：ハンズオンセミナー会場1（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

責任者：中本 達夫（関西医科大学附属病院麻酔科学教室）

コースリーダー：中島 邦枝（群馬県済生会前橋病院）

湯本 正寿（日本大学医学部・附属板橋病院麻酔科）

インストラクター：

三浦 大介（佐賀県医療センター好生館麻酔科）

湯本 正寿（日本大学医学部・附属板橋病院麻酔科）

新屋 苑恵（岐阜大学医学部附属病院麻酔科疼痛治療科）

山崎 亮典（和歌山県立医科大学麻酔科学講座）

近藤 竜也（藤沢市民病院麻酔科）

渡辺邦太郎（杏林大学医学部麻酔科学教室）

草間 宣好（名古屋市立大学医学部附属西部医療センター麻酔科）

小野寺美子（旭川医科大学麻酔科）

セミナー概要

実習 60 分

上肢神経ブロックのうち、より専門的な「Plan BCD」ブロックとして、鎖骨上腕神経叢ブロック＋肩甲上神経ブロック、上肢末梢枝ブロックの習得を目標としています。

本コース受講により、日本区域麻酔学会認定ワークショップ単位 実技1時間を取得可能です。

申 込：事前登録制

定 員：32 名

受講料：3,000 円

超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー 上級コース(下肢ブロック)

日 時：12月5日（金）15：30～16：30（60分）

会 場：ハンズオンセミナー会場1（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

責任者：中本 達夫（関西医科大学附属病院麻醉科学教室）

コースリーダー：笹川 智貴（東京女子医科大学麻醉科学分野）

鈴木 興太（浜松医科大学医学部附属病院麻醉科蘇生科）

インストラクター：

佐藤 慎（東京都立小児総合医療センター麻醉科）

山本 俊介（大阪大学大学院医学系研究科麻醉・集中治療医学教室）

吉山 勇樹（長野赤十字病院麻醉科）

木村 哲朗（浜松医科大学医学部附属病院麻醉科蘇生科）

肥田野求実（東京北医療センター麻醉科）

松尾 敬介（琉球大学病院麻醉科）

土井 克史（埼玉医科大学病院麻醉科）

亀山 良宣（仙台市立病院麻醉科）

セミナー概要

実習 60 分

下肢神経ブロックのうち、より専門的な「Plan BCD」ブロックとして、鼠径上腸骨筋膜下ブロック・PENG ブロックと、傍仙骨坐骨神経ブロック・PHPB（Posterior Hip Pericapsular Block）の習得を目標としています。

本コース受講により、日本区域麻醉学会認定ワークショップ単位 実技1時間を取得可能です。

申 込：事前登録制

定 員：32 名

受講料：3,000 円

超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー 上級コース(体幹ブロック)

日 時：12月5日（金）16：40～17：40（60分）

会 場：ハンズオンセミナー会場1（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

責任者：中本 達夫（関西医科大学附属病院麻醉科学教室）

コースリーダー：柴田 康之（名古屋大学医学部附属病院手術部）

大越 有一（けいゆう病院麻醉科）

インストラクター：

田中 暢洋（奈良県立医科大学麻醉科）

鈴木 智文（JA 三重厚生連三重北医療センターいなべ総合病院麻醉科）

佐藤 祐子（名鉄病院麻醉科）

木田健太郎（神戸大山病院麻醉科）

武田 泰子（愛媛県立中央病院ペインクリニック内科）

絹川 友章（名古屋記念病院麻醉科）

吉村 学（宇部興産中央病院麻醉科）

北條亜樹子（東京科学大学心肺統御麻醉学分野）

セミナー概要

実習 60 分

体幹神経ブロックのうち、より専門的な「Plan BCD」ブロックとして、TPVB・ESP ブロック・横突起間ブロック・retrolaminar ブロック、胸筋間ブロック・肋間上腕神経ブロック・SAP ブロック（superficial/deep）の習得を目標としています。

本コース受講により、日本区域麻醉学会認定ワークショップ単位 実技1時間を取得可能です。

申 込：事前登録制

定 員：32 名

受講料：3,000 円

麻酔科医向け J-MELS ベーシックコース

日 時：12月5日（金）14：20～17：50

会 場：ハンズオン会場2（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

主 催：日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）

責任者：狩谷 伸享（兵庫医科大学麻酔科学・疼痛制御科学講座）

インストラクター：狩谷 伸享（兵庫医科大学麻酔科学・疼痛制御科学講座） 他

セミナー概要：

このたび日本臨床麻酔学会第45回大会において、麻酔科医向けにカスタマイズされた J-MELS ベーシックコースを開催いたします。本コースでは、母体の特殊性を加味した母体急変時の対応を学ぶコースです。本コースは、日本臨床麻酔学会や日本周産期麻酔科学学会で開催したもの（2022-2024 年開催）と同じ内容になりますので、2 回目の受講の方はお気をつけください。また、産科麻酔について学ぶコースではありませんのでご承知おきください。安全な周産期医療のためには、麻酔科医としての全身管理や帝王切開の麻酔などの場面で麻酔科医の力が必要です。本コースは、周産期の麻酔に関わっている麻酔科医にとっては母体急変の病態を知る機会になることはもちろんですが、インストラクターや受講者との情報交換も有意義なものとなることが期待されます。日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）は、2015 年夏に、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本麻酔科学会、日本臨床救急医学会、京都産婦人科救急診療研究会、妊娠婦死亡症例検討評価委員会により設立しました。J-MELS ベーシックコースは、主に周産期医療従事者が、母体急変時の初期対応「京都プロトコル 2020」を中心に、急変への気づき、母体急変対応について、座学やスキル実習、シミュレーションを通して学びます。

申 込：事前登録制（J-CIMELS ホームページから 12月5日のコースで検索）

<https://x.gd/M2UdW> 申し込みにはコース登録料が必要です。

募集期間：2025 年 9 月 23 日（火）まで（応募者多数の場合は早めに締めきることもあります）

定 員：12 名

受 講 料：10,000 円（別途コース登録料（認定料含む）3,000 円）

テキスト：メディカ出版 J-CIMELS 公認講習会ベーシックコース（赤本）テキスト

母体急変時の初期対応（第3版）4,800 円（税別）

そ の 他：コース申込後、必ず J-CIMELS のマイページで申し込みが完了していることを確認してください。

10 月 1 日までに受講可否を連絡。

お問い合わせ先：日本母体救命システム普及協議会 jcimels@gmail.com

3時間で臨床疑問から背景執筆、図表作成まで： AI時代の研究デザイン実践ハンズオンセミナー

日 時：12月6日（土）9：00～12：00【部分参加可能】

会 場：ハンズオンセミナー会場1（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

企 画：一般社団法人 臨床研究・ピアサポートグループ（SRWS-PSG）

責任者：片岡 裕貴（一般社団法人 臨床研究・ピアサポートグループ）

インストラクター（五十音順）：宋 龍平、辻本 康、阪野 正大、藤原 崇志、山本乃利男

【セミナー概要】

日々の臨床現場で感じる「これって研究になるのでは？」という疑問。そんな漠然とした気づきを、AIを活用しながら研究デザインから論文執筆まで体系的に形にする3時間集中プログラムです。

PubMed 収載 290 本以上の実績を持つ臨床研究・ピアサポートグループのノウハウを、あますことなくお伝えします。

各部は独立した内容となっておりますので、部分参加も可能です。ご都合に合わせてご参加ください。申込者には全ての資料を提供いたします。

【こんな方におすすめ】

- ・学会発表を1回以上経験し、論文執筆にチャレンジしたい方
- ・論文を数本書いたが、さらにスキルアップしたい方
- ・AIツールを研究に活用したいが、何から始めればいいのかわからない方
- ・統計解析に苦手意識があるが、論文の図表作成を理解したい方
- ・忙しい臨床業務の合間に、効率的な研究手法を学びたい方

※英語やプログラミングの事前知識は一切不要です！

【プログラム】

9：00～9：05（5分） 開会挨拶・セミナー概要説明

担当：辻本 康

9：05～9：55（50分） 第1部：臨床疑問の構造化と新規性チェック

- ・漠然とした疑問を AI を用いながら研究実施に向けてフレームに落とし込む
- ・自身の疑問について研究実施する意義がありそうかの新規性の確認方法

担当：辻本 康、藤原 崇志

9：55～10：05（10分） 休憩

10：05～10：55（50分） 第2部：先行研究調査と背景執筆

- ・トップジャーナルに掲載された某論文の RQ を提示します
- ・提示された RQ に関する What's known を調べよう
- ・生成 AI を用いて
 - ・Key になる論文を見つけよう
 - ・見つけた論文を読み解こう
 - ・新規性のロジックを作ろう

・What is known?

・What is unknown?

- ・実際の論文の背景と自分の作った背景を比べてみよう

担当：山本乃利男、宋 龍平

10：55～11：05（10分） 休憩

11：05～11：55（50分） 第3部：解析のリバースエンジニアリング

～論文の統計解析を“逆再生”して、その場で図表を再現～

- ・論文の「方法」セクションを元に、統計解析コードを自動生成
- ・プログラミング知識不要！
- ・AI が書いたコードをその場で実行・生成された図表と論文の図表を見比べて答え合わせ
- ・「論文がどう作られているか」を体感できる、驚きの 50 分！

担当：片岡 裕貴、阪野 正大

11：55～12：00（5分） 終了挨拶・質疑応答

【注意事項】

- ・実践的なハンズオンセミナーとなりますので、ノートパソコンをご持参ください。
- ・なお、会場の制約により給電は困難なことが予想されます。事前に充電をお願いいたします。
- ・会場の WiFi のみでは通信速度が遅くなる可能性もあることをご承知おきください。

申 込：事前登録制

定 員：60 名

受講料：3,000 円

miniSAFE コース

日 時：12月6日（土）9：00～12：00

会 場：ハンズオンセミナー会場2（ポートメッセなごや 第1展示館 1F 展示ホール ABC）

責任者：藤本 由貴

インストラクター：蔵谷 紀文、藤原 孝志、鵜沼 篤、本間 舞子、佐々木由佳、太田 一志、平尾 高、山田 康貴

セッション概要：

小児麻酔は、すべての子どもたちに安全で質の高い医療を提供するために重要な分野です。しかし小児特有の解剖学的・生理学的特性に加え、日常診療における小児麻酔の頻度が低いことから、苦手意識を持っている麻酔科医は少なくありません。

Safer Anaesthesia From Education (SAFE) コースは、講義と症例ディスカッションを通じて「安全な小児麻酔ができるようになるための基本」を学ぶことができる教育プログラムです。2011年に Association of Anaesthetists と世界麻酔学会によって開発され、これまで世界各地で開催されてきました。2021年に日本版SAFEコースが開発され、全国で普及が進んでいます。

オリジナルは2日間のコースですが、今回は半日の mini コースとして開催いたします。小児麻酔の中でも特に難しさを感じるポイントを中心に、シナリオディスカッションを企画しました。

いま小児麻酔を学ばれている専攻医の先生方にも、時折小児麻酔に従事されるベテランの先生方にもご参加いただける内容となっております。講師も受講者もともに「教え合い、学び合う」ことがSAFEコースのモットーです。どうぞお気軽にご参加ください。

タイムテーブル：

参加登録				
9:00 ～	15 分	イントロダクション、講師の紹介		
9:15 ～	15 分	講義「SAFE コースとは、子どもは大人のミニチュアではない」		
9:30 ～ 11:30		A グループ	B グループ	C グループ
	40 分	抜管	新生児	緊急開腹手術
	40 分	新生児	緊急開腹手術	抜管
	40 分	緊急開腹手術	抜管	新生児
11:45 ～	修了証授与、写真撮影			

備 考：お子さまを連れてのご参加も大歓迎です！

申 込：事前登録制

定 員：30 名

受講料：3,000 円